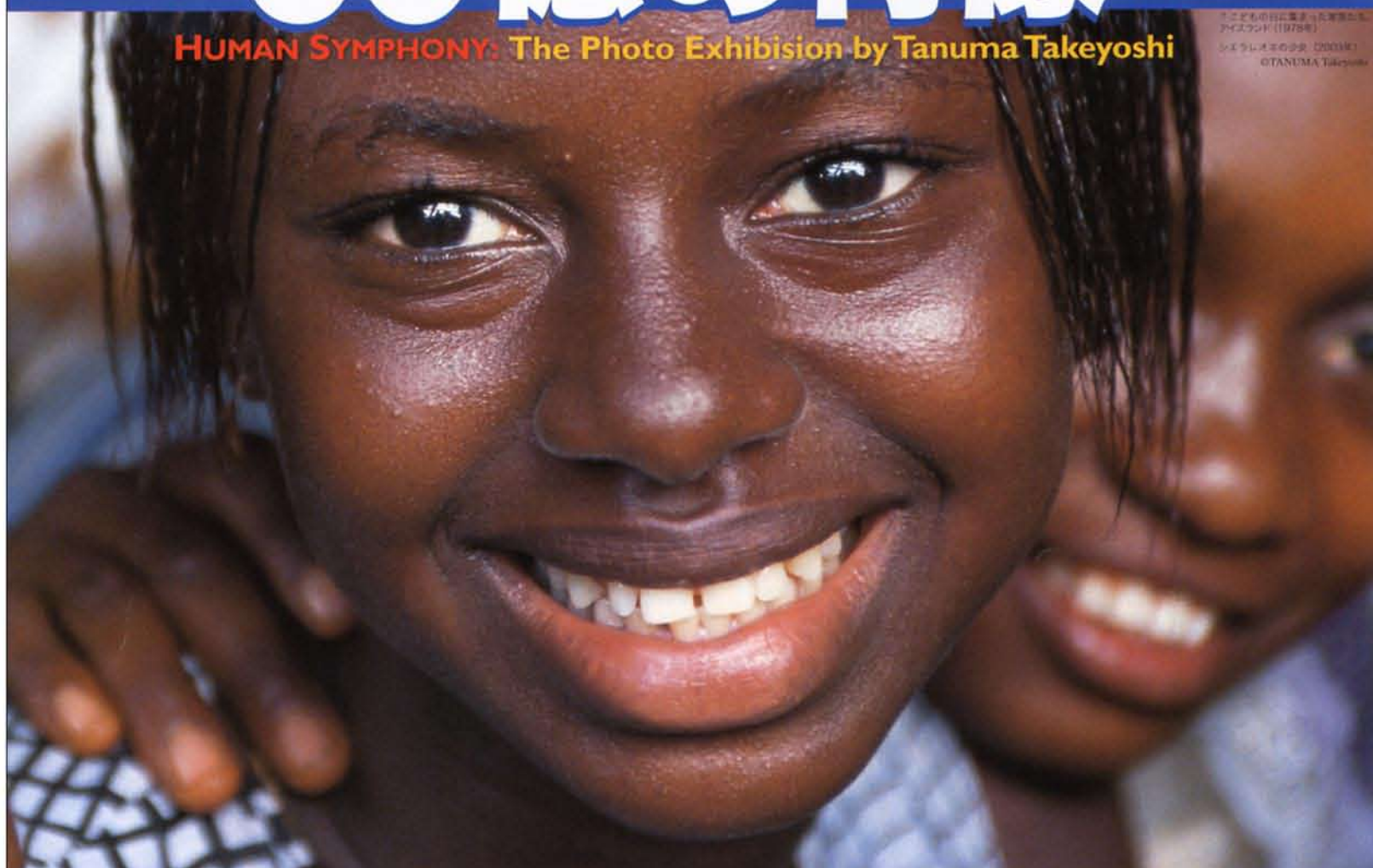




60億の肖像

HUMAN SYMPHONY: The Photo Exhibition by Tanuma Takeyoshi

子どもたちに集まった笑顔の肖像
アイヌの少女 (1978年)
シベリアの少年 (2003年)
©TANUMA Takeyoshi



田沼武能写真展

2004年 1月17日[土] — 2月22日[日]

2階展示室

開館時間=10:00~18:00 (木・金は20:00まで、入館は閉館の30分前) 休館日=毎週月曜日 観覧料=一般700 (560) 円/学生600 (480) 円/中高生・65歳以上500 (400) 円 () 内は20名以上の団体料金。小学生以下及び障害をお持ちの方とその介護者は無料。第3水曜日は65歳以上無料。主催=(財)東京都歴史文化財団 東京都写真美術館/朝日新聞社 協賛=キャノン/キャノン販売/凸版印刷/富士写真フイルム 協力=サッポロビール/写真弘社/プロラボクリエイティブ東京

東京都写真美術館

恵比寿ガーデンプレイス内

東京都目黒区三田1-13-3 〒153-0062

tel. 03-3280-0099 URL: <http://www.syabi.com>

©TANUMA Takeyoshi



《東川本場の丹下左膳》東京、深川 1956年



《ラッパを先頭にお祭り会場へ》ボリビア 1978年



《横山大観》1950年



《榎一雄と松本清張(中央・坂口安吾末亡人)》1958年

60億の肖像 田沼武能 写真展

HUMAN SYMPHONY:
The Photo Exhibition by
Tanuma Takeyoshi

作品解説・サイン会のお知らせ

日時●2004年 1月25日(日)

2月15日(日)

各回14:00より

田沼武能氏による作品解説を行います。観覧券をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。作品解説終了後、サイン会を開催します(対象=当日会場にて本展図録・写真集をお買い上げのお客様。毎回先着100名様)。

人間——その素晴らしきドラマ

1929年、東京の下町で写真館を営む家に生まれた田沼武能は、東京写真工業専門学校(現・東京工芸大学)卒業後、実践的な報道写真の現場に飛び込みました。サンニユースフォトスに入社した田沼はそこで木村伊兵衛と出会い、助手をつとめるようになります。1951年に『芸術新潮』の嘱託写真家となつてからは写真家としての地歩を順調に固めて行き、その後はタイムライフ社の契約写真家となるなどフォト・ジャーナリズムの世界でも華々しい活躍を展開します。

その一方で、パリ郊外のブローニュの森で出会った子どもたちの無限の可能性や生命の輝きに感動し、ライフワークとなる「子どもたち」の撮影に没頭するようになります。それらの成果は『すばらしい子供たち』『遊べ子供たち』『世界の子供たちは、いま』などの写真集として上梓され、田沼は「子どもたちの写真家」として大きくクローズアップされて

行きました。文化や宗教、貧富の差を乗り越え、ひとつの世界を見いだして行こうという作家の強い意志は、写真として切り取られた人びとのイメージに、紋切り型の解釈にはおさまらない、ふくらみと豊かさを与えています。

本展覧会は、これまで120を超える国と地域を取材し、現在でも精力的な活動を展開する田沼の50年に及ぶ軌跡をたどるものです。初期作品《文士》《芸術家の肖像》をはじめ、当館収蔵の《戦後の子どもたち》や世界各地を取材した最近作まで代表作約210点に加え、ユニセフ親善大使に同行取材した20年間の記録も併せて紹介します。

常にヒューマニスティックな視点で人間のドラマを撮り続ける田沼武能。彼の作品の1枚1枚が、声なき声で私たちに語りかけてきます。本展がその奥深い魅力の一端にふれていただく機会となれば幸いです。



東京都写真美術館

恵比寿ガーデンプレイス内

東京都目黒区三田1-13-3 〒153-0062

tel.03-3280-0099 URL: <http://www.syabi.com>